

【1分解説】金融経済教育研究校とは？

政策調査部 研究員 小林 菜

金融経済教育研究校とは、金融リテラシー・マップに基づき、こどもたちの発達段階に応じた金融経済教育を研究・実践する学校等です。金融経済教育推進機構（J-FLEC）および都道府県金融広報委員会が指定し、支援しています。対象には、小学校・中学校・高校等だけでなく、幼稚園・保育所・認定こども園等も含まれており、幼児教育の場でも支援を受けることができます。

研究校に指定されると、教育研究費（幼稚園等は年間15万円、小学校以上は年間30万円を上限）の助成に加え、教材の提供や専門講師の無料派遣、研究・実践計画の立案等に関する助言を受けることができます。

本制度の源流は、貯蓄増強中央委員会が1973年に創設した「金銭教育研究校」制度です。その後、名称が改められた金融広報中央委員会時代には、「金銭教育研究校」および「金融教育研究校」として実施されました。現在はJ-FLECに事業が移管され、「金融経済教育研究校」として運営されています。このように近年は、ものやお金を大切にする金銭教育にとどまらず、資産形成や経済の仕組みまで含めた「金融経済教育」へと領域が拡大しています。

NISAの拡充や「貯蓄から投資へ」の政策推進を背景に、若年層の金融リテラシー向上の重要性は一層増しており、本制度の取組や事例への関心も今後さらに高まると考えられます。

関連レポート

・「【1分解説】金融経済教育推進機構とは？」

(2024年2月)<https://www.dlri.co.jp/report/ld/316462.html>

・「よくわかる！経済のツボ『求められる資産形成～学校でも金融経済教育を開始～』」

(2022年1月)<https://www.dlri.co.jp/report/dlri/176165.html>

・「金融経済教育で『お金を投資し稼ぐ高校生』が活躍する時代へ～学校現場の実践事例を参考に～」

(2024年8月)<https://www.dlri.co.jp/report/ld/355810.html>